

戦争をしないために

いま私たちができること

～憲法改正をめぐる状況とオスプレイ配備問題を考える～

国防軍の創設を訴える自民党が政権に就くに至りました。国の安全保障について自民党と認識を共有する維新の会も大幅に議席数を伸ばしました。今後憲法9条の改正を目指した改憲論議がなされていくことはもちろんですが、一方で憲法解釈を変更して集団的自衛権の行使を認めようとする動きも急です。

いまこの国の60年以上にわたる平和主義の理念が変えられようとしています。

他方、沖縄県民の反対を押し切って配備されたオスプレイは、厚木基地での運用も予定されており、墜落事故等が起きれば、神奈川県民にも重大な被害が発生する可能性があります。沖縄県民に思いを寄せるとともに、私たち神奈川県民も自らのこととしてこの問題を受け止める必要があります。



(写真提供リムピース)

是非この機会に、今私たちの置かれている状況を正しく理解し、市民の皆さんと共に考えたいと思ひ、シンポジウムを企画しました。

これらの問題に非常にお詳しい憲法学者の水島朝穂さんとリムピース（平和団体）編集長の頼和太郎さんを講師にお呼びします。どうぞ振るってご参加下さい。

- 日時 2013年（平成25年）2月25日（月）
午後6時30分～8時30分まで
- 場所 横浜情報文化センター6階 情文ホール
（裏面の「会場のご案内」をご参照ください。）
- 講師 水島朝穂さん（憲法学者・早稲田大学教授）
「いま一度、憲法とは何かを考える～安倍首相の憲法論診断～」
頼和太郎さん（平和団体リムピース編集長）
「オスプレイ配備の問題性と危険性」
- 主催 横浜弁護士会・日本弁護士連合会



事前申込み不要・参加費無料

当会HPもご覧下さい

問い合わせ先 横浜弁護士会 TEL 045-211-7711